



# news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号  
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2015年11月20日

報道関係各位

**北海道 e-水プロジェクト 2015**

**第6回 北海道 e-水フォーラム開催**

**～水をめぐる、もうひとつの北海道史～**



北海道 e-水プロジェクトは、2009年11月に北海道と北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 社長：佐々木康行）の間で締結した、「環境保全に関するパートナーシップ協定」に基づき、北海道の環境保全活動を継続的に推進し、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を次世代へと引き継いでいくため、北海道、公益財団法人北海道環境財団、当社の三者が協働で取り組む活動です。なお、この事業は当社が北海道限定で販売するコーヒー飲料「ジョージアサントスプレミアム北海道限定デザイン」の売上の一部（寄付）で実施しており今年で6年目となります。



本プロジェクトでは、北海道内の水辺で環境保全活動を行う団体への助成・支援や、パンフレット・教材等の作成等を通じた環境保全活動の促進を主な活動としています。

つきましては、本年度の助成プログラム（本年4月キックオフ）における一年間の集大成として、採択された各団体の活動発表や基調講演が行われる「第6回北海道 e-水フォーラム」の開催をお知らせいたします。

## 【北海道 e-水フォーラム 概要】

名称	第6回北海道 e-水フォーラム
日時	2015年11月24日（火） 18:00～20:30（予定）
場所	札幌国際ビル8階 国際ホール 札幌市中央区北4条西4丁目
申込み先	公益財団法人北海道環境財団 電話：011-218-7881
参加費	無料
定員	120名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動団体発表（道内8団体）※各団体の詳細については3ページ目に掲載</li> <li>・講演 小林 三樹 氏（公益財団法人北海道環境財団 理事長） 「水をめぐる、もうひとつの北海道史 ～これからも水の恵みを受け続ける為には～」</li> </ul>

この「北海道eー水フォーラム」は、北海道の豊かな水資源と取り巻く自然を一体として守り、未来へ引き継いでいくことの大切さを考えるフォーラムです。水辺の環境保全活動等に関心を持っている、または取り組んでいる個人・団体・行政・事業者などへ、参考となる情報や事例、保全活動を行う意義等を改めて伝え、水辺の環境保全活動を推進していくために、本プロジェクトの助成事業の活動発表や、公益財団法人北海道環境財団理事長 小林 三樹 氏を講師にお招きし、長年命を守るための水に関わって来られた研究者の立場から、私達が水の恵みを受け続けるために何が求められているかをテーマとした貴重講演を頂きます。この「北海道eー水フォーラム」を通じて環境保全に関する取り組みが広まり、生活者の関心がさらに高まることを期待しています。

#### ■参考1 北海道eー水（イーミズ）プロジェクトとは

- ・北海道には豊かな水資源とそれを取り巻く美しい自然があります。この北海道の恵まれた水とそれを含み自然環境を道民全体で保全し、未来に引き継いでいくため、道民、事業者、行政の協働のもとで地域における水環境の保全活動に取り組む事業が「北海道eー水プロジェクト」です。
- ・エコロジーをイメージする「e」と「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、「北海道eー水（イーミズ）プロジェクト」と名付けました。
- ・2009年から始まったこの「北海道eー水プロジェクト」はこれまで5年間で延べ66の団体を支援してきました。また、当社の寄付金額は2009年12月～2015年3月で約6,143万円となりました。

#### ■参考2 活動の源である「ジョージアサントスプレミアム北海道限定デザイン」

- ・「ジョージア サントスプレミアム北海道限定デザイン」は1993年に発売して以来20年以上、北海道の多くのお客様に親しまれているコーヒーのロングセラー商品です。原材料には、北海道産の乳・糖を使用し、北海道の地産地消を応援しております。
- ・パッケージデザインは、北海道の代表的な自然風景を採用し、ご愛飲いただいている皆様から北海道の環境を守ることへの気持ちをお預かりするというかたちで、売上の一部を公益財団法人北海道環境財団へ寄付し、それを活用して北海道との連携のもと道内各地域の水辺において環境保全に取り組む団体と協働し、水辺の観察会や清掃活動などに取り組んでいます。

※4種類のパッケージデザイン（左から 大沼、釧路湿原、大雪山、十勝平野）

※容量は170g缶、185g缶、280mlPETの3種類があります。



■参考3 2015年度 北海道e-水プロジェクト 助成団体（五十音順、敬称略）

団体名	区分	事業名	事業概要	所在地
NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト	単団体	海と湿原のつながり調査プロジェクト	[活動地域]浜中町 科学的手法による沿岸海洋調査、アマモウオッチング、潜水調査、報告会の開催等	浜中町
NPO法人C・C・C富良野自然塾	単団体	「水」と人の繋がりから地球環境を考える 体験型学習事業	[活動地域]富良野市 水をキーワードにした複数の体験型学習プログラムの開発・実施・効果測定	富良野市
然別湖生物多様性保全協議会	単団体	外来生物防除対策事業	[活動地域]鹿追町 然別湖の生態系保全に向けたウチダザリガニ防除、小中学生を対象とした環境学習の実施	鹿追町
知床羅臼町観光協会	単団体	世界自然遺産10周年 らうすの海いつまでもプロジェクト ～みんなで守ろう羅臼の海～	[活動地域]羅臼町 海岸のごみ拾い、学生や教員等を対象とした知床の自然、羅臼の海の豊かさを学ぶモニターツアーの実施	羅臼町
福豊川に魚道をつくる会	単団体	みんなで作ろう手作り魚道	[活動地域]美幌町 魚道の設計、魚道づくり、魚の遡上確認、生息生物調査の実施、美幌博物館での展示	美幌町
別寒辺牛川・ホマカイ川流域 環境保全協議会	流域ネットワーク	別寒辺牛湿原及び厚岸湖の 水環境活動	[活動地域]厚岸町、標茶町 河川の水質調査、牡蠣貝を用いた水質浄化試験、河畔林植樹、講演会の開催	厚岸町
NPO法人北海道田園生態系保全機構	単団体	平成27年度 自然観察会及び田んぼの学校	[活動地域]新十津川町 人と作物と水の関わり、動植物の生活環境、水質保全や水源涵養などを学ぶための自然観察会・田んぼの学校を春と秋に開催	札幌市
夕張川自然再生協議会	単団体	夕張川自然再生協議会を基にした 流域市民連携のいい川づくり	[活動地域]栗山町 サケ・マス自然復帰、自然環境調査、川体験学習の実施、シンポジウム、河川清掃等	栗山町

- ・対象となる団体：道内の水辺における環境保全事業を行う非営利の団体または流域ネットワーク
- ・対象となる事業：道内の水辺（川、海、湖沼など）において環境保全活動を行う非営利の団体（または流域ネットワーク）が行う事業。

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を継続的に実行してまいります。これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや安全で安心な地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部 担当：小野

Tel：011-888-2091